

令和7年12月3日

東伊豆議会

議長 栗原京子様

文教厚生常任委員会

委員長 西塚孝男

議員派遣結果の報告

令和7年第3回定例会で承認された議員派遣の結果を報告いたします。

記

- 1 目的 子育て・教育についての先進地視察
 - (1) 充実した子育て支援について
 - (2) 未来の教育もりやビジョンについて
- 2 派遣場所
 - (1) 茨城県境町（面積 46.59 km²、人口 23,914 人）
 - (2) 茨城県守谷市（面積 35.71209.58 km²、人口 70,974 人）
- 3 期間 令和7年11月4日（火）～6日（木）
- 4 派遣議員

委員長	西塚孝男
副委員長	山田直志
委員	栗原京子
委員	楠山節夫
委員	笠井政明

5 視察概要

(1) 充実した子育て支援について 境町

i 境町の概要

境町は関東平野のほぼ中央、首都 50 km圏内にあり、茨城県の南西部、県庁所在地の水戸市まで約 70 kmに位置し、町の南西部を利根川が流れ、その利根川をはさんで千葉県に面しています。また、周囲は古河市、坂東市、五霞町、千葉県野田市に隣接しています。利根川流域に形成された平坦沖積地帯と古河市、坂東市に接する洪積台地からなり、主に低湿地は水田、台地は畑地を形成しています。

江戸時代に入ると、鬼怒川や利根川・江戸川などを利用した水運の拠点のひとつである「境河岸」が形成され、町に繁栄をもたらしました。

ii 子育て支援日本一を目指し、

境町は子どもたちの未来のために最大限の投資をしていきます！

境町の子育て支援概要は、別紙に一覧を添付しました。

① 「保育園・小学生・中学生 先進英語教育が0円&英検もタダで受けられる。」を掲げて、英語教育に力を入れている。

○すべての学校に複数のALTが常駐 ○ハワイ・ホノルルの小中学校と姉妹校を締結 ○英検が無料！しかも各学校で受験できる。を軸に学校で英語教育が取り組まれている。

結果、小6で英検5級保有率75.5%、中3で英検3級以上52.2%は全国保有状況27%のほぼ2倍となる。

これらの取り組みは、平成26年に橋本正裕町長（当時40歳）が就任して、平成30年から令和5年度までの結果です。

② 小中学校の給食費無料など教育環境の充実

全小中学校の校舎・体育館100%エアコン完備、水泳授業は室内温水プール、土曜・放課後学習支援、返済免除の最大年48万円奨学金、高速バス通学定期半額補助などの制度がある。

③ 3 歳から 5 歳の保育料給食費無料など出産、育児、子育てへの手厚いサポート施策で、子育て世帯を支援している。

産前産後ヘルパー派遣事業、出産祝い品や育児用品購入クーポン支給、病児保育可能な保育園開園、保育士等の給料月額 1 万円補助
20 歳までの医療費無料、小・中・高へ入学する子どもに 3 万円
支給など事業が実施されている。

**ii 「25 年間住み続けるだけで 家と土地がもらえる」を
移住者・子育て世代へのサポート施策の充実**

**① 住宅サポート施策として、「25 年間住み続けるだけで 家と土地
がもらえる」を中心として支援している。貰える住宅は新築だけで
なく、リノベーション住宅、PRI 住宅・マンションと住宅の形態は
様々だが、25 年間家賃相当額で新築経費など採算性にも配慮されて
いる。**

住宅施策は、移住者、住宅購入、民間賃貸への支援まで配慮されている。移住者 4 年間町民税相当額の最大 50% 支給。新築・購入住宅の固定資産税相当額 3 年間分支給、子育て・新婚世帯民間賃貸家賃最大 36 万円補助、新婚世帯の住宅家賃・引越し代補助最大 60 万円などがある。ローン金利補助、太陽光蓄電池補助、浄化槽設置補助などもある。

② 子育て環境もきめ細やかに整備・充実している。

学童クラブも定員を増やす、教員免許をもつ指導員が宿題や自主学習もサポート、全天候型で遊べる公園文化村ニコニコパーク離乳食・幼児食など食育カフェ、子どもを遊ばせながら安心して仕事ができる施設 S-W o r k+K i d s、小児科専門クリニックの誘致をしている。

iii ふるさと納税の増加を、町の子育て・移住政策に活用し魅力が倍々増

橋本町長就任以来、当時の危機的財政状況から脱出するために、ふるさと納税に力を入れてきた。令和4年度にはふるさと納税59億5348万円、企業版ふるさと納税3億67万円で茨城県下1位となった。令和7年予算では20.3億円である。ふるさと納税で得た財源が、充実した福祉・教育に活用されている。

また、補助金獲得にも力を入れている。令和7年度当初予算では、国補助金15億5800万円、県補助金2億2600万を獲得している。

背景として、補助金獲得のチームがある。令和7年度においては、職員を内閣府1名、国土交通省1名、観光庁1名、茨城県3名派遣している。

iv 施設整備で、町の魅力もふるさと納税も家賃収入も人口も大幅にアップ

ふるさと納税等で得た財源で、新築やリフォームで住宅を建設して「25年間住んだら土地と家をプレゼントする」を実施している。そのほか補助金と財源を生かして、道の駅、小児科医院、ほしいもの百貨カフェ、うなぎの加工工場、肉の加工工場、波の出るプールなど（添付参照）を次々と整備している。特筆すべきは、これらが移住や子育てに相乗効果を与えているにとどまらず、雇用の創出と新たなふるさと納税品となっている。さらに、これらの施設は指定管理契約等を締結しており、21施設の令和6年度家賃総額は、1億1388万円で町のさらなる財源となっている。それまで減少傾向だった人口も社会動態では平成28年からほぼ増加となり令和6年度は272人の増加となった。

(2) 未来の教育もりやビジョンについて 守谷市

i 守谷市の概要

守谷市は、茨城県の南西端に位置し、東京都心から40キロメートル圏内にあります。東は取手市、西は常総市、北はつくばみらい市に隣接し、南は利根川を挟んで千葉県野田市と柏市に相對した市です。鉄道は、秋葉

原駅とつくば駅を結ぶ首都圏新都市鉄道・つくばエクスプレス及び関東鉄道常総線が通っています。道路は、東京・茨城方面への常磐自動車道、栃木・福島方面への国道 294 号が通っております。

地勢は、茨城県南部から千葉県北部にわたる大きな洪積台地である「常総台地」から枝状に伸びる猿島台地の先端部分に位置します。利根川東遷工事及び鬼怒川開削工事により、三方向を利根川・鬼怒川・小貝川に囲まれた島状の地形となっています。

ii 「わくわく子育て王国もりや」

① 守谷市の学校教育の現状と課題

現状

- i 全国から注目される幼保小中高一貫教育
- ii 全国から注目される教育改革プラン
- iii 県内トップクラスの高い学力
- iv 恵まれた教育環境整備

課題

- i いじめ問題
- ii 児童生徒の安全の確保
- iii 新しい生活様式を意識した教育課程
- iv 教職員の働き方改革
- v 新しい学校生活スタイルの創造

② 「未来の教育もりやビジョン」とその特徴

働き方改革と教育の質の向上を同時に進める。

市長の公約が「わくわく子育て」であった。市長と教育長が話し合い、子どもたちがわくわく学校にするためには、先生が疲れていてはダメであると共有して、先生の働き方改革と合わせて教育の質の向上に取り組んできた。

- i 週 27 コマ授業を 25 コマにして、6 時間目を作らない。
- ii 理科、図工、音楽は専任教師をつけて、それぞれの授業を質の高いものにしていった。
- iii 3 教科を専任とすることで、担任の先生は空き時間に成績付け、保護者対応、校務に宛てられるようになり残業は減少し、授業の充実に向けられた。2 学期制の導入。
- iv 授業計画のデータバンクを設置して、授業の進め方を共有化し質的な向上に結び付けた。先生個人でも得手不得手はあるわけで、各先生方の授業計画を登録しておくことで、新任の先生や不得手な先生も他の先生の計画を参考にして質の高い授業を行うことができるようになっている。

③ 守谷式英語・グローバル教育

- i 小 9 校中 4 校に、A L T 19 人を市が配置（民間派遣会社）し、県派遣のアシスタントティーチャー 2 人を併せて、学校内で日常的に英語で話す生活ができている。学校ごと英語イベントなど開催している。
- ii A I を活用し英語発信力、学習交流の充実、環境の整備
A I 英語表現力の評価パフォーマンステスト、スピーキング（小 6、中 2 対象：年 2 回）、1 人 1 台端末で海外とつながり、表現力を高めるオンライン英会話（小 5、6 年対象に：年 3 回、中 1—3 年対象に：年 4 回）

④ 情報活用教育の推進

小中 9 年間で取り組む「守谷型情報活用能力育成プログラムの実施」

「情報活用能力アセスメント」（小 1～中 3 対象：年 1 回）

主体的・対話的で深い学びの実現のための教職員の I C T 活用能力の向上、専任教員の配置、育成

⑤ 「いじめ・不登校ゼロパンク+」の推進

「いじめをなくそう仲良し月間」（５月・９月・１１月）の設定、教職員に対する研修、居心地の良い学校・学級づくりにむけて、いじめ対応研修、授業力改善研修を行っている。多様な学びの場の充実にむけて、サタデー学習支援教室（小４～６年対象）、ＡＬＴと学ぼう（小学生）に取り組み、中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、全校にフリースペース設置とフリースペース支援員を配置している。

⑥ 一人一人に寄り添う特別支援教育

発達性ディスレクシアを早期に発見するために「読み書きスクリーニング（小１、中２）特別支援教育ソフトを活用した「個別支援計画」の作成を行っている。

⑦ ４８億６３００億円の教育費（令和６年度決算）

教科担任やＡＬＴの配置、スクールソーシャルワーカー・フリースペース支援員など人材に最大限の予算を投入しており、令和６年度決算では４８億６３００万円、予算比１３．３％を教育予算が占めています。

投入できる財源的な裏付けは、アサヒビールの工場があることなどからふるさと納税額が７０億４６００万円納税されており、こうした財源を教育に投入している。

（３） 感想

① 「守谷市の働き方改革と教育の充実を」統合する町の学校にも取り入れるべきです。

週２５コマの授業での学校運営、理科・図工（美術）・音楽の教科専任教諭の配置で、担任の先生の負担を軽減し、授業準備、保護者対応、校務を行い、残業を減らして、授業に集中することでよりよい授業実現に向かっている。

② 英語教育を保育園・小中学校で、学校教育の中心的課題に位置付けて

いる。

英検検定費の補助・支援、ALTの配置、英語の学校イベント、外国の学校との交流、留学と毎日学校で英語が使われる環境やモチベーションを向上される取り組みを用意して、英語教育が特色となり子育て世代の移住の要因となっている。

- ③ 財源的には、ふるさと納税の取り組みが成功していることが、教育予算を大幅に伸ばす土台がある。境町は特産品も少ない中、工場を誘致して雇用や家賃収入を拡大しながらふるさと納税品の拡大にも繋げている。
- ④ 守谷市の教育、境町のふるさと納税を中心とした自治体運営については、町の事業の手本として、担当部局の職員を派遣するなど充実した研修を行うことを進められたい。